

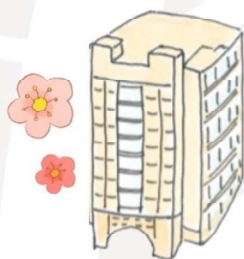
STUDY ABROAD EXPERIENCE IN KYORITSU Ver.2



Tokyo
Skytree



Asakusa



Kyoritsu



Coffee



Imperial Palace





国際交流センター長からのメッセージ

佐藤 雄一先生

共立女子大学・共立女子短期大学は、より一層の国際交流を進めるために、2024年4月に国際交流センターを開設しました。

留学生の受け入れや海外への送り出しが国際交流センターの仕事の大きな柱になっていますが、学内での国際交流にも力を入れています。昼休みには、フランス語や中国語、英語、日本語のトークルームを開催し、学生が気軽に交流できる機会を作っています。留学生同士が親しくなれたり、他学部の学生とも知り合いになれたりするので、学生生活を充実させることができます。

国際交流センターでは留学生に対するさまざまなサポートを行っていますので、学習面や生活面などで気になることがあったら、気軽に相談してください。交流できるスペースもあるので、みなさんが積極的に国際交流センターを活用してくださることを期待しています。

国際交流センター

2号館5階グローバルコモンズ内に教職員が常駐しています！留学生からのご相談はこちらで受け付けています。自由に学修できるスペースが隣接しており、留学生や留学を希望している学生の集いの場となっています。



学びのキーワード



共立女子大学・短期大学で学べる内容を少しだけ紹介します。
学びたいことを、各学部・科のキーワードから探してみてください

	学部・科	学科・専攻・領域・コース	外国人留学生入試	キーワード
大 学	家政学部	被服学科	○	○被服材料 ○被服管理 ○染色 ○染織文化 ○伝統染織技法 ○被服心理 ○被服造形 ○パターンメイキング ○ファッションデザイン ○ファッションビジネス ○マーケティング ○化粧品
		食物栄養学科	○	○食事 ○健康 ○食生活の改善と向上 ○食の安全 ○食品科学 ○栄養学 ○調理 ○食文化 ○伝統食品 ○フードビジネス
		管理栄養士専攻		
	児童学科			○子ども ○乳児 ○幼児 ○児童 ○家庭 ○保育 ○教育 ○児童福祉 ○子育て支援
	文芸学部	言語・文学領域	○	○言語 ○文学 ○演劇 ○外国語 ○映画 ○テレビドラマ ○ミュージカル ○舞台美術 ○美術館 ○博物館 ○美術史 ○絵画 ○思想 ○歴史 ○文化史 ○現代アート ○音楽 ○アート・マネジメント ○ストリートカルチャー ○図書館 ○まんが ○マスメディア ○SNS ○AR・VR ○コミュニケーション ○ジャーナリズム
		芸術領域		
		文化領域		
		メディア領域		
	国際学部	国際学科	○	○アジア研究 ○ヨーロッパ研究 ○アメリカ研究 ○国際コミュニケーション ○比較文化 ○思想・表象文化 ○国際関係 ○国際経済 ○国際協力 ○国際公共政策
		エリア・スタディーズコース		
		コミュニケーション・スタディーズコース		
	看護学部	看護学科		○健康 ○生活 ○疾病 ○治療 ○ケア ○予防 ○回復 ○医療 ○保険 ○福祉 ○発達 ○社会 ○コミュニティ ○多職種・多機関 ○連携 ○チームワーク ○コミュニケーション
		ビジネス学部		○経営組織 ○経営戦略 ○マーケティング ○経済 ○金融 ○財務会計 ○簿記 ○ファイナンス ○法律 ○情報 ○統計 ○リーダーシップ ○ファシリテーション ○AI ○チームコーチング
	建築・デザイン学部	建築・デザイン学科	○	○建築・設計 ○まちづくり ○家具 ○照明 ○インテリア ○CG・WEB ○編集・企画 ○広告 ○タイポグラフィ ○マーケティング ○ユニバーサルデザイン ○CAD ○ブランディング ○グラフィックデザイン ○プロダクトデザイン
		建築コース		
短 期 大 学	生活科学科	ITメディアコース	○	○衣・食・住・情報 ○美容・健康・ウェルネス ○SDGs ○ユニバーサルデザイン ○ITメディア ○調理・フードビジネス ○ポップカルチャー ○プロダクト ○CG・DTP・WEB ○ファッション ○色彩 ○インテリア ○企画・プレゼンテーション ○CAD・BIM・3Dプリント
		生活デザインコース		
	文科	日本文化・表現コース	○	○文章表現 ○コミュニケーション ○プレゼンテーション ○サブカルチャー ○アニメの物語学 ○TOEIC® ○翻訳 ○通訳 ○国際交流 ○異文化理解 ○文学 ○発達心理 ○臨床心理 ○カウンセリング
		グローバル・コミュニケーションコース		

※ 留学生入試の詳細は、本学HPよりご確認ください⇒



大学



短大

留学生プロフィール①

在学中の留学生が本学で体験した生活や学びをご紹介します。



名前:ソヨンボ ボルゴチンさん

所属:国際学部

学年:2年生

出身:モンゴル



出身校: インターナショナル・スクール オブ ビジネス
日本語科
日本健康医療専門学校 グローバルキャリアコース

Q&A

Q 入学前の日本語学習歴を教えてください!

A 来日前に3か月程度、母国で日本語の勉強をしました。その後、日本語学校と専門学校にそれぞれ2年間通い、共立女子大学へ入学しました。日本語学校へ入学した時は読み書きは出来ませんでしたが、日本のアニメをよく見ていたので、会話は得意でした。外に出掛けると日に日に看板などの漢字で読める単語が増えていることに気が付き、楽しく勉強できました。日本語学校では理事長賞をいただくことができ、その後の学習の励みになりました。

Q なぜ共立を選びましたか?

A 日本語学校と専門学校を卒業した後は、母国へ戻ることを考えていました。しかし、専門学校の先生に共立女子大学を紹介されたので、試しにキャンパスを訪問したところ、とてもきれいで入学したいと思いました。母国には女子校がないため、男子学生がいなくてどのような雰囲気であるか想像が出来ませんでした。入学してみて、静かで勉強に集中できる環境が気に入っています。

Q 共立のキャンパスで一番好きなのは?

A 2号館の8階ラウンジが特に気に入っています! 授業がある日の空きコマはいつもラウンジで過ごしています。本館4階売店の焼き立てパンの中でも特に照り焼きピザが好きで、ラウンジで食べることもあります。授業の準備をしたり最近では英語の勉強も頑張っています。



Q 日本語だけではなく、英語の勉強も頑張っているきっかけは?

A 国際学部のGSEプログラムに参加したことがきっかけです。英語で授業を受けることは想定していませんでしたが、ジョエル・ナジコーニ先生の授業が特に楽しいです。Readingの宿題が課され、授業ではその内容についてディスカッションをしながら理解を深めています。西洋の人は一般的にアジアの人をどう見ていたのか、という視点で学べました。

Q その他のオススメの授業を教えてください!

A 横山和子先生の「応用日本語」の授業が勉強になりました。少人数のクラスでレポートの書き方を学びました。メールの書き方や礼儀についても教えていただくことができ、貴重な体験でした。

Q 英語の授業も多いようですが、母語話者と一緒に日本語で学ぶことについては苦労しましたか?

A 漢字と語彙が苦手でした。私の母国語であるモンゴル語は日本語と似た単語がほとんどありません。でも、ベトナム人の友人の話を聞くと、日本語の「態度」という単語はベトナム語では「thái độ (タイド)」とほとんど同じ音なので、語彙が覚えやすそうだと思いました。ただ、日本語とモンゴル語の文法は似ているため、苦労しない部分もありました。
日本語の音がきれいでカッコよく感じてとても好きなので、とにかく楽しく勉強できています。

Q 共立で出会った大好きな方とのエピソードを教えてください!

A これまでのアカデミックアドバイザーであった佐藤雄一先生、高野麻衣子先生、市山陽子先生、そして石井久生先生には大変お世話になりました。先生方が履修についての相談にのってくださいたり、授業についていけずに諦めそうになった時にアドバイスをくださったおかげで頑張れました。経済的な心配について相談をしたところ、市山先生が大学の支援制度などを調べてくださいました。先生方からそのようなサポートをいただいたおかげで成績があがったり、楽しい大学生活を送れています。

市山先生からのメッセージ



学生さんそれぞれに必ず一人ずつ担任(アカデミック・アドバイザー)の先生が付いており、履修や将来などの困ったことを最初に相談できる存在として学生さんを支援します。また大学には学生さんの修学だけでなく生活や進路に関する困りごとに親身に相談に乗れる部署やセンターがあります。例えばソヨンボさんが相談くださったアルバイト探しについては、本学学生専用のアルバイト紹介システム※1がありますし、様々な修学支援制度をまとめたサイト※2もHP上からアクセスできます。中には本学独自の奨学金もあり、ユニークなものとしては本学事務局内の実務体験(10月~翌9月)をしていただく「共立女子大学・共立女子短期大学実務体験奨学金」※3(選抜あり)などもあります。是非共立に来て充実した学生生活を送ってください!

これから入学する学生へのメッセージ

共立女子大学は、挑戦や成長を全力でサポートしてくれる温かい環境が整っています。入学後は、アカデミックアドバイザーの先生方や職員の方々が親身に相談に乗ってくれるので安心して学生生活を送れます。受験勉強は大変ですが、その先には新しい世界が待っています。共立女子大学でお会いできる日を楽しみにしています! っ



※1 アルバイト
紹介システム



※2 修学支援
サイト



※3 実務体験
奨学金

留学生プロフィール②

在学中の留学生が本学で体験した生活や学びをご紹介します。



名前：チャントウ ホアフウンさん

所属：国際学研究科

学年：2年生

出身：ベトナム



出身校：MANABI外語学院 長野校

Q&A

Q 入学前の日本語学習歴を教えてください。

A 母国で日本語を専攻していました。その後1年間、コンビニでアルバイトをしながら長野の日本語学校「MANABI外語学院」へ通いました。

Q なぜ進学先として共立を選びましたか？

A 別の大学院に通おうと考えていましたが、指導教員として希望していた先生がご退職されることとなってしまいました。進路を悩んでいた時にMANABI外語学院の先生に共立を紹介してもらったためです。

Q 第一志望ではなかったとのことですが、実際に入学してみていかがでしたか？

A 素敵な先生や友達に出逢えました。入学したことを後悔したことは一度もありません！ベトナムには女子大がないので、最初は不安に思っていました。女性だけの環境に慣れていないので、いろいろなことに気を遣わないといけないように考えて、ちょっと厳しいイメージを持っていました。でも実際には全く逆で、今では男性がいる大学院での生活がイメージできなくなりました。

阿部先生からのメッセージ

チャントウホアフウンさんは、日本で勉強したいという強い意志を持って、留学を実現されました。自分に厳しく、真摯に研究に向かう姿が印象的です。修士論文は「日本語における婉曲表現—ベトナム語母語話者の理解度についての考察—」という題目で9万字強の論文を書き上げました。修士課程の2年間は短いですが、フンさんは研究の傍ら、他大の活動に参加したり、食べ歩きをしたり、旅行したりと日本の生活を満喫されていました。

留学生生活は毎日が異文化体験の連続で、大変な事もありますが、その経験は人生の選択肢を広げ、大きな自信に繋がることを確信しています。



Q 日本語で学ぶことの苦勞はありますか？

A JLPTでN1を取るための計画を立てました。模試を解いて、分からないことはすぐに先生に質問をして、間違えた問題をひとつずつ解決していきました。友達に教えてもらうこともよくありました。

Q 勉強を教えてくれるほど親しいお友だちが共立で出来ましたか？

A はい。大学院で一緒に勉強している曾さんと鈴村さんが大好きです。出身国は違いますが、曾さんは同じ留学生という立場でお互いに頑張っています。鈴村さんには、難しい言葉や用語などを教えてもらったり、日本語のアドバイスもらっています。友人だけではなく、大学院で最初に受けた授業の阿部圭子先生も大好きです。英語に自信がなかったので、英語の授業が不安でしたが、授業外の時間でも温かいコミュニケーションをとってくださったため、日本の文化も学ぶことが出来ました。

Q その他にもオススメの授業があれば教えてください！

A 大学院の授業では自分の考えを伝える機会があり、他の方の意見も聞くことができ視野が広がりました。その中でも、「日本語の多様性」の授業は、留学生の私にとって興味深い内容でした。



Q 卒業後の進路はいかがですか？

A 日本でITの会社に就職を予定しています。就職活動の流れのイメージが来ず、キャリア支援グループの説明会に参加したり、相談に行ったりしました。書類審査は通過できるのに、面接ではうまくいかないこともありました。面接の練習でも、まずは文章を書いて伝える内容を考えていました。JLPTの試験対策と同じように、うまく出来ないことを一つずつ解決していきました。JLPTでN1を取得していたことも就職活動に置いてのアドバンテージとなっていたと思います。

これから留学する学生へのメッセージ

✧✧✧ 日本で留学お際に、
大変なことや、恐れることなどありますが、
前進しないと、新しい世界が知らないのど
「恐れずに、一歩前に踏み込んで新世界を開く！」
✧✧✧

一緒に頑張ろうね♡

留学生プロフィール③

在学中の留学生が本学で体験した生活や学びをご紹介します。



名前：ソ リュウネイさん
所属：国際学研究科
学年：2年生
出身：中国
出身校：エリート日本語学校

Q&A

Q 入学前の日本語学習歴を教えてください！

A 大学で日本語を専門に学んでいました。高校生まで英語が好きで、大学での専攻を選ぶ時に大学内で一番有名な専攻であり、中国で働く時に最も実用的な言語であると思った日本語を選びました。コロナの影響で予定していた渡日が遅れた期間は中国で高校生に日本語を教えていました。2022年4月に来日が叶い、エリート日本語学校に通い始め3か月で日本語能力試験N1に合格しました。

Q 大学院に入学するよりだいぶ前に日本語能力試験N1に合格していたのであれば、日本語で苦労することは少なかったのではないのでしょうか？

A 大学院に入るまでは、インプット中心の学習であったため、日本語で話すことに抵抗がありました。毎日文献を読んで、授業で発表をするということを続けることによって、話すことにも慣れてきました。先生方がとても分かりやすく説明してくれるので、ありがたいです。

Q 特に印象に残っている授業はありますか？

A 阿部圭子先生の「アメリカ英語の多様性—地域・人種・社会方言」と佐藤雄一先生の「日本語の多様性」は特に楽しく学ぶことが出来ました。他の国の言葉・文化を自分の国の言葉や文化と比べて学ぶことが出来ました。先生との距離が近く、気軽に悩みなどを相談できることも助かりました。李錚強先生の「中国の社会と言語形成」の授業では、母国である中国について、日本で学ぶことで、中国で学ぶ時とは異なった視点を持つことができる貴重な機会となりました。

李先生からのメッセージ

母国の大学を卒業してから日本留学に踏み切る学生が増えています。日本の文化や社会について学べることはもちろんですが、それまでに勉強してきた知識を活かし、日本と比較しながら異文化として自国の文化を対照的に研究することで新たな視点も得られます。大学院では特に、個別指導や少人数授業という恵まれた環境の中でご自身の研究がスムーズに進められます。

Q 現在の研究テーマについて、教えてください！

A 「日本における女子大について」をテーマとして研究しています。入学を決める前から、日本には女子大があることが他の国とは違って珍しく、興味深いと感じていました。実際に入学してみて、女性だけの環境で過ごし、安心感があると思っています。また、男性がいないことでジェンダーなどについても遠慮なく話せるので、研究テーマについて考えるには最適な環境です。

Q 本学のお気に入りをお教えてください！

A 図書館と本館11階のラウンジが好きです。図書館ではPCを使用する場所と本を読む場所が分かれているので、取り組みたいことに合わせて座席を選び、集中することができます。本館にはほとんどの階にラウンジがありますが、その中でも11階の一人になれる椅子がお気に入りです。



△本館11階ラウンジ

Q 昼食はどうされていますか？

A 食堂に行ったり、神保町のグルメを楽しんでいます。本館の食堂のほうれん草チーズ照り焼きがとても美味しいです。麻婆豆腐は、本場の中華料理の味です！神保町にある粤港美食も広東料理を楽しめてオススメです！

Q ご友人と一緒に行くのですか？

A はい。もう卒業した友人とも良い関係を築けています。学部生のアンケートに協力してくれた山本さんと、食堂で整理券の出し方が分からずに困っていた時に声を掛けてくれた前田さんとはお二人の卒業後の今でも3人でご飯を食べに行っています。



これから留学する学生へのメッセージ

皆心に位置し、多様な学びの機会やサポートが充実している。先生方の温かい支援とともに、留学を進めながら、新たな挑戦に踏み出してください！
ここで得た知識を活かし、充実した留学生活を送ることを心から応援しています。新しい世界への一歩を楽しんでください！



留学生向けサポート

共立では留学生にこちらでご紹介するようなサポートをしています。
困ったことや相談があるときは国際交流センターへお越しください

01



留学生向け入学前教育

在学生から入学前に必要な情報のレクチャーを受けることができます。入学後の学生生活をスムーズに開始するため、留学生が入学後に戸惑ったことなどを教えてもらって、共立での生活の準備を行いましょう。

在留カードの更新サポート

在留期限を越えて引き続き勉強を続ける学生は、在留期間更新許可申請手続きを行う必要があります。許可された在留期限の日の3ヶ月前から申請することができますので、国際交流センターの窓口に早めに来室して手続きを進めましょう。分からないことはいつでも相談してください。

02

懇親会・歓迎会

他の留学生や日本人学生と交流する機会を設けています。所属を超えた交流ができるため、国際交流に興味のある友人を作ることができる楽しいイベントとなります。

03



日本語トークルーム

他の留学生や日本人学生と楽しくお喋りをしながら生きた日本語を学べる場です。日本語トークルームの他に、現在は英語・フランス語・中国語のトークルームを実施していますので、母語を他の友人に伝えたい方はお声掛けくださいね！

04



05



キャリアサポート

卒業後、日本で働きたい留学生に向けてのキャリアサポートを行っています。東京外国人雇用サービスセンターとも連携を取りながら、留学生の卒業後の進路についても支援をしています。就職活動の流れ等を伝えるガイダンスから、キャリアカウンセラーによる個別の相談や面接練習も行っています。何度も通って、十分に準備をして備えましょう！

04

私費外国人留学生授業料減免制度 ※条件あり

在留資格が「留学」の私費外国人留学生を対象とした授業料の一部を減免する制度です。留学生が十分な勉強時間を確保出来るよう、経済的にサポートすることを目的としています。

07

実務体験奨学金制度 ※選考あり

大学事務局内で1年間業務を行うことで、月3万円の奨学金が給付されます。授業の合間に業務を行うことができ、時間を有効に活用することが出来ます。業務についても本学事務職員が丁寧にサポートします。

詳しくはWEBよりチェック！



[国際交流・留学HPトップ](#)



[国際交流センターInstagram](#)



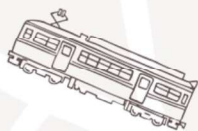
[国際交流トピックスHP
留学生の声](#)



[奨学金](#)



共立での楽しい学生生活を、
よりイメージできます！



コンセプトムービー

本学の理念や大切にしていることを理解できる動画です。どのようなサポートを受けることができるか確認してください。



コンセプトムービー (short-ver)

41秒の短い動画で本学のイメージをつかんでください。
※上記コンセプトムービーのショートバージョンです。



説明ムービー

共立の学生の生の声を聞くことの出来る動画です。先輩たちから共立のお話を聞いて学びについて知り魅力を感じてください。

アクセス

東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄三田線・都営地下鉄新宿線

「神保町」駅下車

A8出口から本館まで徒歩1分

東京メトロ東西線・半蔵門線・都営地下鉄

「九段下」駅下車

6番出口から3号館まで徒歩2分

東京メトロ東西線

「竹橋」駅下車

1b出口から本館まで徒歩3分



※こちらのガイドの情報は2025年3月時点のもので、変更となる場合があります。

共立女子大学・共立女子短期大学

〒101-8437 東京都千代田区一ツ橋2-6-1

2号館5階 国際交流センター

<https://www.kyoritsu-wu.ac.jp>

お問い合わせ先: koryu@kyoritsu-wu.ac.jp

03-3237-2789



国際交流センターHP